

**製品名: SULT1A1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM86129**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:8000
分子量	34.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SULT1A1 Sulfotransferase 1A1, ST1A1, 2.8.2.1, Aryl sulfotransferase 1, HAST1/HAST2, Phenol
別名	sulfotransferase 1, Phenol-sulfating phenol sulfotransferase 1, P-PST 1, ST1A3, Thermostable phenol sulfotransferase, Ts-PST, SULT1A1, STP, STP1
遺伝子 ID	6817.0
SwissProt ID	P50225
免疫原	この抗体は、ヒト由来の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

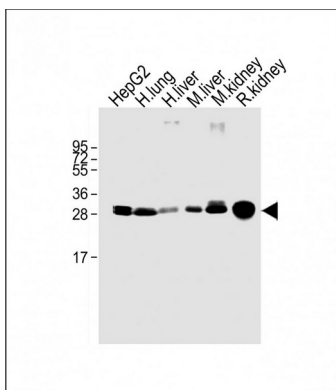
**背景**

3'-ホスホ-5'-アデニル硫酸 (PAPS) をスルホン酸供与体として利用し、カテコールアミン、フェノール性薬物、神経伝達物質の硫酸抱合を触媒するスルトランスフェラーゼ。エストロゲンスルトランスフェラーゼ活性も有する。ミノキシジルのスルホン化と活性化に関与する。発がん性 N-ヒドロキシアリールアミンの DNA 結合産物への代謝活性化を媒介し、癌リスクの調節因子として関与する可能性がある。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗 SULT1A1 抗体 (1:1000 希釈)